

[地質データ解析プログラムソフトウェア]

StereoWinPro2

プロに選ばれる

理由がここにある。

直感的操作性と高い自由度で様々なアウトプットが可能

地質構造に係る走向傾斜や開口幅等の亀裂データを入力することで、ステレオネットが簡単に作成できます。



データ入力

BIPS解析結果をそのままインポート



分析と解析

ステレオネット図、岩盤状態図
見掛け傾斜図、分散図etc



多様な形式変換出力

DXF、JPEG、BMP、WMF

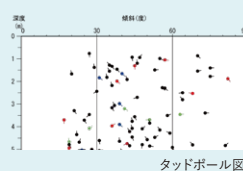
StereoWinPro2

3つの特長

新機能

ユーザーのリクエストに応えた新機能を搭載

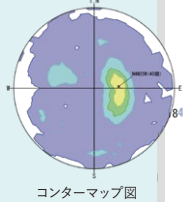
- 深度と走向・傾斜の関係が一目でわかるタッドポール図
- 便利なundo機能
- レイヤー機能で各種ネット図を重ね合わせ表示可能



表現方法

拡張した編集機能によって高いカスタマイズ性を実現

- コンターマップの色付けによって視認性が向上
- 配色や線の太さなど自由に選択することが可能
- お気に入りのレイアウトにできる雛型機能



管理

ユーザビリティの高いファイル管理機能で作業効率アップ

- 1孔分の図表を1ファイルで保存・管理
- 解析結果をWordやExcelに直接貼り付け可能
- dxf、jpeg、bmp、wmfの4種類にエクスポート可能



ステレオネット図

ステレオ投影は球面を平面に投影する手法の1つで、走向傾斜等の三次元情報を二次元で表現する際に用いられます。StereoWinPro2では次の6種類の表現を選択できます。

■ π ダイアグラム

不連続面をプロットした図。StereoWinPro2ではネット図毎にレイヤー分けして複数の図を重ね合わせることができます。

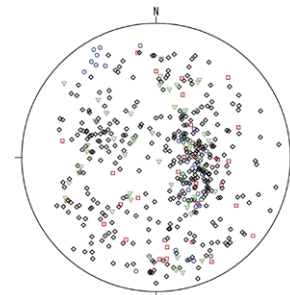
■ カウントダイアグラム

π ダイアグラムでプロットされた不連続面の構成比を表現した図。分散閾値の調整や色分けなど細かな設定ができます。

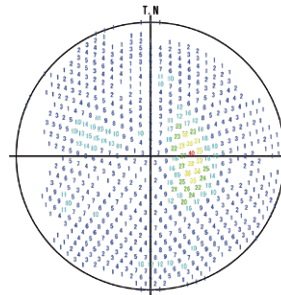
■ コンターマップ図

カウントダイアグラムを基に等高線を描画した図。コンターマップの色付けが可能になったことで走向傾斜の傾向が一目で把握できます。

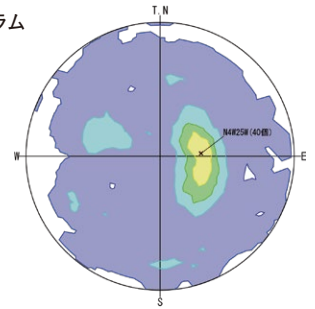
■ ローズダイアグラム ■ 大円 ■ 応力場解析



π ダイアグラム



カウントダイアグラム



コンターマップ図

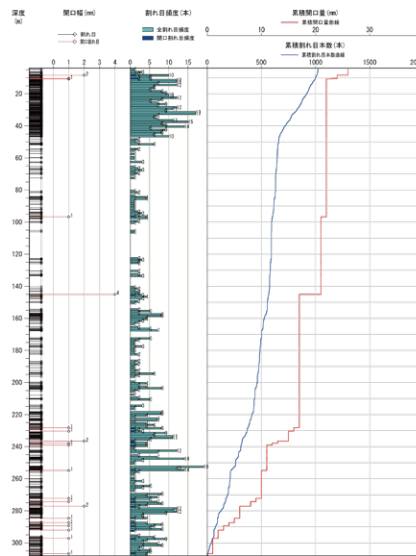
岩盤状態図

レアックスが提案している法面や斜面における緩み域の定量的評価に有効な複合図です。割れ目分散図、割れ目頻度分布図、累積開口量曲線、累積割れ目本数曲線による総合的な岩盤評価に用いられます。

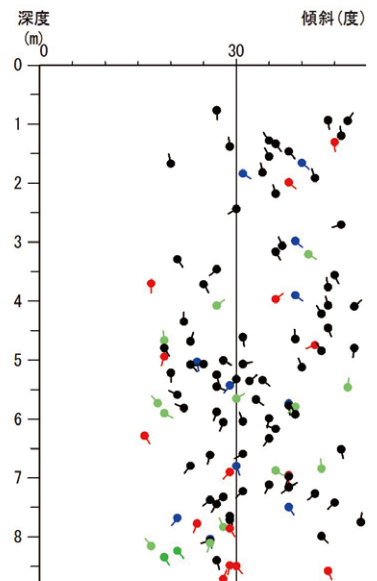
タッドポール図

StereoWinPro2に新たに搭載された新メニュー。不連続面の深度、方位、傾斜を「おたまじゃくし(tad pole)」の記号で表現しています。

■ 見掛け傾斜図 ■ 分散図 ■ AVTD図



岩盤状態図



タッドポール図

User's Voice [お客様の声]

地質調査業/A様



ビジュアル面が強化され、表現の幅が広がった。また、作図用のテンプレート機能の搭載により、これまで個別に作成していた作業時間を短縮できるようになった。さらに、すべてのファイルデータはボーリング孔毎に一元化されること、各設定条件が一覧に表示されていることから、ヒューマンエラーの予防にも期待できる。

地質調査業/B様



数十年ぶりに家電を新しく買い替えた時のような感覚。最初は大規模なUIの変化に驚いたが、一度雛型を作成すれば、その後のデータのインポートで素早く成果物を作ることができる。旧バージョンより効率的で、雛型を作る手間さえ乗り越えれば、作業工程が大幅に減った。

